

ネブラスカ州：小麦作柄と気象状況

2005年7月26日

2005年7月24日現在：

7月24日に終わる1週間のネブラスカ州の気温は、全州の観測所にて平年以上の気温を記録した。NW (Panhandle) の最高気温は103~105度F、SW地区では103~105度Fであった。平均気温は平年を4~7度F上回った。NW地区、SW地区では殆ど降雨は無かった。最も降水量の多かったNE地区の1週間の平均降水量は0.95インチであった。Topsoil 及び Subsoil の土壌水分は大幅に減少したが、多少5年平均より良い状態を保った。1週間の州平均農作業稼働日数は6.4日(前週:6.8日)であった。高温で小麦は急速に枯熟し、収穫作業が捗り全州の95%にて完了した。5年平均より早い進捗となった。収穫初期の段階でありサンプル数は少ないが、SW地区の小麦の蛋白質は2004年産より1.5~2.5%低く、11.7%と報告された。2004年産の同地区の小麦の蛋白質含有量は14.3%であった。

今期の小麦は、登熟期の気象が穏やかで高温とならず、十分な降雨より土壌水分が適していたこともありゆっくりと成熟した。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産予想では、単位収量は6月1日付け予想より2.0 bushels/acre 減少し41.0 bu/ac と成った。6月の完熟期の天候不順がマイナス要因となったと言える。完熟が遅れたが品位的には高容積重が期待できる。生産量予想の詳細は別表の通り。

2005年4月1日~7月24日の降水量：

	NW	NC	NE	CEN	EC	SW	SC	SE
This week	0.23	0.33	0.82	0.16	0.95	0.05	0.45	0.72
Total since 1/4/05	12.11	17.02	15.63	13.60	12.85	10.36	11.01	11.69
Normal since 1/4	9.62	11.45	13.12	12.41	13.62	11.11	12.13	13.91
Total as % of normal	126%	149%	119%	109%	94%	36%	91%	83%

土壌水分：2005年7月24日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Ave.
Topsoil				
Very Short (%)	19	8	11	30
Short (%)	43	45	24	31
Adequate (%)	38	46	61	38
Surplus (%)	0	1	4	1
Subsoil				
Very Short (%)	16	10	27	36
Short (%)	37	38	28	33
Adequate (%)	47	52	44	31
Surplus (%)	0	0	1	0

小麦の生育状況：2005年7月24日現在

	This Week	Last Week	Last year	5-Yr Ave.
Harvested (%)	95	74	88	90

Source: Nebraska Agriculture Statistics Service, USDA

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
NE	1,650	1,700	37.0	43.0	41.0	61,050	69,700
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email ogawa.max@omicnet.com